VOL.2

ペットのお悩みお役立ち情報

みんなどうしてるの？ペット服のお洗濯

おしゃれなお洋服を着た小型犬は可愛すぎるくらいですが、ペット特有の抜毛、臭い、ペット特有の雑菌がお洋服に付着しています。

臭いの原因はペット特有の皮脂汚れによる菌の繁殖によるもので清潔を心掛けるためには、こまめなお洗濯は欠かせません。

でも愛犬のお洋服やタオル、ブランケットなど、ペット特有のあの臭いや汚れ、気になりませんか？他の愛犬家はいったいどんな洗濯をしているのか、気になりますよね。

ある洗剤メーカーの調べでは定期的に洗濯する飼い主さんは 94%、そのうち洗濯機で洗う割合は 74%、人の洗濯物と分けて洗う割合は 64%だそうです。

そこで今回はペット服のお洗濯方法についてお役立ち情報をお伝えします。

小型犬の健康維持やお洋服が長く着られるよう是非参考にしてみて下さい。

1．洗濯機派それとも手洗い派？

小型犬服はコットンやポリエステル、ウールなど素材も様々ですが、洗濯機で洗う場合、生地の傷みや色褪せ、縮みによる劣化は手洗いに比べ劣化は早くなります。

洗濯機は便利な反面、洗濯槽内にペットの抜毛や雑菌が残り、そのお掃除も必要となるため、**手洗いがベスト**です。

手洗いの前はお洋服に付着した抜毛や汚れを予め取っておくとお洗濯も楽になります。

また洗剤はペット用の専用洗剤であれば、ペット特有の離毛促進剤や抗菌仕上げ剤が配合されているので衛生面からもお奨めです。

洗濯後は洗濯ばさみでつるしてしまうと型崩れするので、**平干しで日陰干し**がベスト。

手洗い、専用洗剤を使用する以外は人の場合とほとんど同じですね。

2．お洗濯前の下準備のポイント

洗濯頻度は着る機会や回数、汚れ具合にもよりますが、雑菌が繁殖したペット臭がする前、**1 週間に 1 回**程度洗濯するのが良いです。

汚れたままですと生地を傷めてしまう原因にもなり、雑菌が繁殖して愛犬の健康にも悪影響となりますので、臭いが感じられる前にお洗濯するのが良いです。

お洗濯前の下準備として衣類やブランケットに付着した抜毛はあらかじめ**粘着シートで軽く取り除いておく**と手洗いが楽になります。また泥や汚物が付着したものは早めに汚れを落としてからお洗濯した方が生地を傷めません。

ファスナーやボタンなどのある衣類の場合は、洗濯機でお洗濯するのでしたら、しっかりと閉めてお洗濯したほうが生地を傷めません。

今回はペット服のお洗濯がテーマでしたが、如何でしたでしょうか。

今回のお役立ち情報の感想やご意見、ペットのお悩みなど取り上げて欲しいテーマなど御座いましたら、是非ショップ宛にメールをお寄せ下さい。

ブログ記事として検討させて頂きます。

3. ペット服のお洗濯まとめ

1. 洗濯機は衣類の劣化を早めるから**手洗い**がベスト。洗濯後は**平干しで日陰干し**がベスト。

2. お洗濯頻度は **1 週間に 1 度程度**

3. **お洗濯前の下準備**として汚れ、汚物の付着は**軽く汚れを落としておく、**衣類に付着した**抜毛は粘着シート**で軽く取り除いておく